

集合研修を行う際の感染症対策について

東京都医療社会事業協会では、新人研修・グループスーパービジョンBおよびCにおいて、集合研修を行う予定です。新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン研修に置き換えることも可能性としてはありますが、集合研修による研修の効果や、オンライン研修をうけることのできない環境にいる会員の方の受講機会を確保することも考え、以下のような対策を行った上で、集合研修を行うことにしたいと存じます。今後、変更がある場合には、ホームページ等で随時ご案内を致します。

<当協会としての対策>

- 東京都が政府による緊急事態宣言の対象地域となった場合は、研修は中止とします。
- 研修会場では、アルコールによる手指消毒や検温、および受講生への体調の確認を行います。検温の結果は、記録をのこすようにします。消毒液等は協会が準備します。
- 研修会場は、受講生の2倍以上の定員の会場を選び、ドアや窓を開けておく等、換気を行います。
- 座席についても、座席指定や座席同士の距離を確保します。また、受講生名簿の管理を確実にし、万が一の際には、受講生に必ず連絡をとれる体制をとります。
- 講師および運営を行う教育部理事は、必ずマスクを着用します。
- グループワークを行う際は、人数を少数とし距離を保つ・互い違いの配置にする等の対策をします。

<受講生の方へのお願い>

- 研修を受講する際は、必ずマスクの着用をお願いします。
- 研修会場における検温を必ず受けていただき、手指消毒の実施の徹底をお願いします。
- 研修会場での検温の結果、37度以上の熱がある場合には、研修への参加を辞退していただくこともありますので、ご了承下さい。
- 受講中、体調不良があれば速やかに申し出て下さい。
- 研修日前後一週間以内に発熱や倦怠感などの体調不良があった場合には、必ずご連絡を下さい。場合によっては、参加の自粛をお願いすることもあります。
- 所属機関に研修に参加することの許可を得て下さい。
- 所属機関から研修受講についての指示が出た場合は、それに従って下さい。

※協会として考えられる対策は行いますが、感染を完全に防ぐことはできません。参加に際しては、ご家庭やご自身の状況・所属機関の規定等を鑑みていただき、ご不安な点やご不明な点がございましたら、協会までご連絡を下さい。